



2010 年 バザー

「義に飢え渴く人々は、幸いである。

その人たちは満たされる」 (マタイによる福音書 5章6節)



発行

2011年1月1日 第84号

社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館
発行人／池田巍義
編集人／谷川 修
〒457-0805
名古屋市中区三吉町6丁目17番地
TEL／052-612-3370 (本部)
FAX／052-611-9085
URL／http://shakaikan.com
E-mail／shakaikan@shakaikan.com

新年おめでとうございます。
社会館創立五〇周年を迎え、過去五〇年を振り返り、これからの五〇年を展望しました。とはいってもこれからのことは非常にむずかしいことです。とくに政治・社会・経済あるいは福祉からみたこれからの展望するのは非常にむずかしいと思います。
私は、年頭にあって、医学医療の分野から、これからの五〇年を展望してみたいと思います。
二〇〇七年、京都大学医学部の山中伸弥教授は、iPS細胞(人工多機能細胞)を人間の皮膚からつくることに成功しました。これはノーベル賞ものの快挙と言われています。iPS細胞というのはこの細胞から人間の体のいろいろな組織をつくることができるもので、再生医療に明るい光明を灯したものとされています。つまりたとえば、心臓、腎臓、肝臓などの臓器移植が必要な場合、今までですと、HLA型(白血球の血液型)が一致していること、普通の血液型が一致していることが必要でした。HLA型が一致するのは、兄弟の場合でも、四人に一人、兄弟以外ですと五〇〇千人に一人しかいません。HLA型が一致していないと拒絶反応がおこりやすいのですが、最近では免疫抑制剤のおかげで完全に一致していなくても移植がおこなわれるようになっています。しかし免疫抑制剤を使うと感染症にかかりやすいという問題点をもっています。さて、山中教授の創出したiPS細胞から心臓を造ってそれを移植すると、もともと自分の皮膚ですから拒絶反応は全くおこらないわけです。まさに理想的な移植です。
ところで、今までに造りだされている組織は神経、心筋、胃、肝臓、血小板、角膜、網膜などです。しかしいずれもまだ動物実験段階です。

夢を夢でなく

マウスの実験では、脊髄損傷マウスにiPS細胞と抗てんかん薬を併用すると、下肢のまひが改善し、六週間後に七割のマウスが歩けるようになったと報告されています。
また、別の報告では、骨髄移植によってラットの血管を若返らすことに成功しています。骨髄の代わりに臍帯血(赤ちゃんが生まれるときの臍の緒の血液)や自分の若い時の骨髄を使って、またiPS細胞を使って同様なことができると期待されています。すると血管性認知症などの治療もできるということになります。
こうしてみると、現在難病といわれている病気や障害にも大きな期待を寄せることができ、山中教授は「十年以内にiPS細胞から造った組織を患者に移植する研究を始めた」とのべています。

さて現在の認知症の治療については、昨年一〇月三十一日のNHKで放送されていました。今では薬による認知症の治療に格段の進歩があり、また超早期診断による「先制医療」も期待されています。現在の時点ですでにここまでできているのですから、五〇年という間には格段の進歩が予想できます。

また、NHKの「爆問学問」という番組では、生田幸三教授はナノレベルのロボット(二百分の一ミリ：赤血球と同じサイズ)を開発し、それを体内に注入することによって、正常組織を傷つけることなく、たとえばがん細胞や細菌と戦わせることができるとしています。

このように考えてみると、五〇年以内にはかなりの病気や障害が克服される可能性(夢)があるということです。この夢を夢で終わらせないよう国や自治体に求めたいと思います。

名古屋キリスト教社会館の使命

名古屋キリスト教社会館は、創立の精神に基づき、次の使命を担います。

1. すべての人々がかけがえない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していける社会を築くことをめざします。
2. 隣人とのあい、ふれあい、そだちあいを大切に、ともに地域の課題を担うことを通して福祉の輪が広がるように努めます。
3. 世界の人々との交わりを通して、福祉社会の実現のために働きます。

監事

小林 磯部 下妻 松岡 三好 真木 柴田 藤原 長井 武田 吉田 鳥井 白石 斎藤 葛西 小早 笠島 加藤 加藤 湧井 堀江 林 加藤 内藤 田中 磯部 長田 近藤 野村 谷川 池田 鈴木

評議員

小磯 下松 三真 柴藤 長武 吉鳥 白斎 葛小 笠加 加湧 堀 林 加内 田中 磯長 近野 谷 池 鈴
部 妻 岡 好 木 田 原 井 田 田 井 石 藤 西 早 島 藤 藤 藤 藤 中 部 田 藤 村 川 田 木
子 徹 幸 禎 芳 謙 茂 美 和 節 一 淑 弘 明 考 規 重 俊 峯 義 博 紀 昌 圭 直 潔 修 義 武

常務理事

評議員

小磯 下松 三真 柴藤 長武 吉鳥 白斎 葛小 笠加 加湧 堀 林 加内 田中 磯長 近藤 野村 谷川 池田 鈴木

専務理事

評議員

顧問

評議員

謹賀新年

名古屋キリスト教社会館にとつて、今年は新しい五〇年に向けての最初の年である。本館入口の北側の壁面には、社会館創立の由来を記したモニュメントが新しく取り付けられた。

新しい年の始めに浮かんだのは、聖書の『カナの婚礼』（新共同訳・ヨハネ二章）の記事である。イエスが母方の親戚筋の婚礼に弟子たちと招かれた時、客に出すぶどう酒が足りなくなるといふ事態が生じた。母マリヤからそのことを告げられたイエスは、召し使いたちに命じて「水がめに水をいっぱい入れなさい。」と言われた。そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあった。いずれも二ないし三メートル（二メートルは約三九リットル）入りのものである。この時のイエスの言葉は、誰にもなぜと思わせるものであった。母マリヤは召し使いたちに「どうかこの人の言うとおりにしてください」と言葉をそえる。召し使いたちは、かめの縁まで水を満たし、イエスに言われるままにそれを宴会の世話係のところへ運んで行った。彼らはぶどう酒に変わった水の味をし、それが非常に良いぶどう酒であったため感嘆したということである。どこで水が上質のぶどう酒に変わったのか、誰も知らない。しかしこのことが聖書には、イエスがガラリヤで行われた最初のしるし（二・十一）として伝えられ、今日に至っている。

ぶどう酒との関連で言えば、暮れの十一月三日（祝日）、多

治見のカトリック修道院で催された『第七回ワインフェスタ』に初めて参加した。名古屋の昭和区にある「社会福祉法人AJU自立の家」の主催で、そこで働いておられる教会員の方のお招きによる。開放された修道院の敷地に入ると、受付でワインの試飲券三枚分に、陶製のカップとそれを首からかけるリボンが渡され、修道院で造られたワインと外国産のものを頂いた。敷地の中にはぶどう園が広がり、大きなぶどう棚の下では何組もの家族が昼食をとっていた。会場のそこかしこには車椅子の人や、身体の不自由そうな人、また家族らしい参加者や、初めて参加したような若いカップルも見受けられ、食べ物を作る出店にはそれぞれ十名ぐらいの列ができていた。風は冷たかったが天気も良く、修道院の庭の風景も忘れがたいが、何よりもその趣旨が、自立に向かってぶどう園で働いている仲間を支援するものであることに、心暖まるものを感じた。人は自分以外の人の状況にはあまり関心がいかない。しかし何らかのきっかけで、助けを必要とする人たちの存在を知って、自分出来ることを

2011年の始めに



は、最初の聖書の物語に戻るが、かめいっばいに注がれーわたしは「縁まで」という形容詞が気に入っているー宴会の世話係のもとに運ばれた水が、感嘆を受ける上質のぶどう酒に変わったということ

は、皆さんはどう受け止められるだろうか。その場に必要不可欠のものが何らかの事情で不足するということは有り得ることであるが、水がそれ以上質のぶどう酒に変えられるということでは、カナの宴席に限られたことではない。人の痛みや必要に心が動くということは、水がぶどう酒に変えられるようなことである。

聖書には「めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」（フィリピ二・四）とある。人のことを思う働きは、天に於いて喜ばれ祝されることである。どのような事柄もわたしたちのところまでどまるのではない。その働きは、それがどんなに小さく思われることであっても、わたしたちの分らないところで知られているということ、新しい年の始めに心に留めて頂きたいと思う。

理事長 池田 巍義

菜の花保育園 子育てセンター菜の花 名古屋のびのび子育てサポート事業

子どもたちの笑顔がきこえる二〇一一年に

昨年は多くの卒園児、父母の方々との出会い、そして現況を知らせていただき、感慨深く社会館の歴史を改めて感じた一年でした。今、保育園の仕組みが大きく変わろうとしています。新たな制度では、給食の外部委託が基本となり細かな配慮や食育は望めなくなる恐れがあります。香りを味わい、食を楽しんできた子どもたちの給食が外部から配食されることのない様にしたいものです。

（園長 富田千栄子）

今年も子どもたちが生き生きと遊び・生活する保育園生活を父母

南部地域療育センターそよ風 愛育診療所 障害児者地域生活支援センターみなみ

必要とするすべての子どもに療育を

言葉の遅れや、発達に弱さを持つ子どもたちが参加する、療育グループは、念願の療育室を確保する事ができました。年間一八〇組ほどの親子が参加しています。通園部は四十名の子どもたちが通っていますが、入園を希望する子どもたちが多く、このところ三歳児しか入れないような状態が続いています。今年は、通園施設への入園を希望する子どもたちみんなが、週何回でも通えるような療育の場を拡げること、また、相談を希望する子どもたちが、早くに相談で

（下妻 幸美）



TEL 612-3357
FAX 612-3411



TEL 612-3361
FAX 612-8859

献金・協賛報告

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。（敬称略・順不同）

〈クリスマス献金〉

杉本奈津江、近藤京子、穴戸健夫、喜多村隆、天野伊津歌、伊藤雅夫、浅野基明、白石淑江、松井武男、田口恵美子、賀屋哲男、真木芳子、オリエンタル(株)、秋野勝紀、磯部徹、宮本和武、松永俊文、早川みどり、中村つじ、中村紀子、加藤峯子、磯部モータース、加藤静子、田中武之、金子豊子、和木しず子、鈴木美子、長谷川武夫、坂本康信、永井寿美子、植木信一、大塚京子、高橋昭彦、藤澤光子、鈴木武二、高山明子、石井要、松原満夫・真奈美、新海英行・加恵子、中村康人

〈賛助会〉

清八重子、杉本節子、穴戸健夫、佐々木一雄、伊藤雅夫、中澤洋、(株)星崎土地、富島照男、加藤美邦、賀屋哲男、仲義和、真木芳子、小谷治郎、廣井美奈子、秋野勝紀、磯部徹、田中友安、大塚郁夫、小林牙子、(株)喜斎 豊島徳三、中村紀子、加藤峯子、磯部昌治、寺川幸三、(株)愛知兄弟社、小林恵美子、熊田賦、武田美和子、吉田昌子、金子豊子、(医)高田ライフ健康クリニック 高田和夫、尾関明、大橋洋子、三口妙子、中島忍、島田和典、鶴田吉和、井元産業(株)代表取締役 井元明正、高山明子、山本吟子、松原満夫・真奈美、中北智久、竹内勲

〈一般献金〉

高嶋進、小林牙子、加藤峯子、齋藤襄、島井一夫、日本聖公会名古屋ヨハネ教会、木曾興業(株)、則武すゑ、杉本充、山本吟子、大島和海

〈東部療育センターづくり指定寄付〉

山下やよい
〈テイスビス愛指定寄付〉
加藤考一、館きよ子
〈50周年記念祝い〉
穴戸健夫、高森敏子

以上 10月8日〜12月6日



デイサービス友
 デイサービス愛 居宅介護支援事業所
 配食サービスゆうの里

あいづち打ちながら

一〇三歳の利用者がさんがまどろみの中で「おかーさん、わたしのおかーさんはどこですかー」と探します。いくつになっても母の姿の大きさに感動させられます。ふと私も母を想います。母は山深い鳥取の老健で特別養護老人ホームの空を待っています。介護度5。胃ろうに吸引が必要なためいくつもの施設を断られました。生まれ育った土地で生き続ける困難さが身にしみます。デイサービス友と愛は今「どんな人も受け入れよう」を合言葉に現場職員のガンバリで支えられて事業をすすめ

ています。全介助の方、認知の重い方、障がいのある方が元気に通っております。

ある職員が「自分がいりた」と思えるグループホームを作りたい」と熱く語っていました。そうです。私たちの仕事づくりは私の母を通わせたいデイサービス、自分が通いたくなる施設づくりです。今年も一〇〇回同じ話にあいづちを打ちながら、生き抜いてきた人生に学びながら、楽しいデイサービスにしたいと思っています。

(所長 小早川弘江)

TEL 612-3077
FAX 612-3067



発達センターあつた
 デイサービスあつた

多くの人の手、人の輪に支えられて

あつたの子どもたちは、父母の皆さんの手で守られた、おひさまがふり注ぐボカボカの園庭で元気にあそんでいます。毎年冬を迎える度に、おひさまのありがたさを思います。

昨年九月に行ったあつたか

(園長 佐藤 明裕)



TEL 681-1167
FAX 681-1178



発達センターちよだ
 デイサービスちよだ

新しい療育センターを目指して

守山区の矢田川沿いにある「発達センターちよだ」には二〇人の子どもが毎日通っています。並行して行なっている「グループぽかぽか」(週一回の親子教室)には一〇〇人ほどの登録があります。

それでも十分とは言えず、子育てや発達に支援が必要な子どもとその家族にまだ手が届いていないのではないかと思われま

す。

名古屋市は、二〇一四年に「東部地域療育センター」を建設す



TEL 792-7277
FAX 792-7258



社会館生活支援センターぴぽと

生活支援の新たなスタート

昨年は完成したぴぽとでの内容作りに向けての一年でした。そして法人としても五〇周年の記念行事が色々あり、あつたという間の一年でした。新しい年を迎えて、この地域に根を張り、ぴぽとが拠点となって、仲間たちの地域での生活支援という樹を茂らせ、暮らしという実を

(林 俊和)

実らせなければなりません。

そのためには樹を見守り・育てる職員の輪、地域の人の温かい光、いろいろなものが必要です。職員も地域を耕し、豊かな



TEL 613-1306
FAX 746-0873



名南ユースセンターACT
 ちどり児童会

みんなで育つ学童に

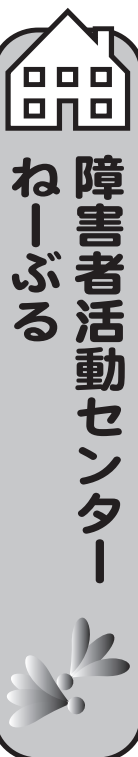
学童まつりや社会館バザーで学童の子どもたちは、あそびや食べ物の店を出店しました。

「たくさんの方がきてくれてうれしかった」「保育園の子にビーズをうまく教えてあげられた」「みんなで協力してお店ができた」など子どもたちは新し

い経験や、いろいろな人との交流を通して様々なことを感じました。二〇一一年も様々な経験を通し、仲間と育ち合える学童保育をめざしていきたいです。

(楠木 徹)

TEL 612-1346
FAX 611-9083



障害者活動センター
 ねーぶる

新年あけましておめでとーびげいます。

昨年は4名の新しい仲間が増えて総勢23名のねーぶるになりました。10月には4つ目のグループをつくり、生ごみ処理のコンポスト機を活用した新たな活動が始まりました。そしてな

ごや循環型野菜「おかえりやさ (施設長 江尻 寛)

TEL 613-1307



ホーム社会館

新たな年とともに「いっぽ」のスタート

「障害」のある仲間が地域で「自分らしい暮らし」を求めて親元から離れ生活しはじめ10年がたちました。

5つ目のホーム「いっぽ」をこの2月スタートに向け準備を進めています。これまで同様、

(湯浅 登)

TEL 613-3341
FAX 746-0874

やわらかなうたごえをとどける

アンサリー
チャリティーコンサート日 時 2011 年 2 月 27 日 (日)
15 時開演 (開場 14 時 30 分)場 所 今池ガスホール
(千種区今池 1 丁目 8 番 8 号)
*地下鉄東山線・桜通線今池駅 10 番出口直結
ガスビル 9 階出 演 アンサリー
大人 3,000 円 子ども 1,000 円

東部方面地域療育センターを早期実現のために

名古屋市東部方面に地域療育センターをつくる
チャリティーコンサート実行委員会

創立 50 周年に合わせて名古屋キリスト教社会館が伊勢湾台風の被災に対するキリスト者の救援活動がもとになって設立されたという経緯を表すモニュメントを作製し、本館の法人本部が入っている建物 1 階の壁に設置しました。

11 月 23 日の社会館バザーに合わせて除幕式を行い、たくさんの方に披露いたしました。

★ホームのどか
設備改修整備報告

ホームのどかはトイレが狭く、仲間が足をケガすることがありました。

2010 年度、日本財団の小規模福祉施設改修補助金により、10 月 11 日に改修工事が完成しました。



とてもトイレが快適になりました

苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、
本部事務局

612-3370

へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、

加藤 考一 613-2718
小林 冨子 611-0401

高森敬久先生を偲ぶ会

と き

2011 年 1 月 30 日(日)
15 時から 17 時

と ころ

大阪 NPO プラザ

参加費

3,000 円

申し込み先

大阪ボランティア協会
(高森係)

☎

06-6465-8391

この度、発達センターあつたに 2010 年度の共同募金配分が決定しました。この配分金で、行事等に使用する音響機器を整備します。ありがとうございました。

発達センター あつた

社会館バザーのお礼

“つながって 50 年、つながれもっと未来へ”のテーマの下、
今年は社会館創立 50 年を冠して、盛大に行われました。

中央舞台では、未来に向かって夢や希望をアピールする大声コンテストをとりくんだり、途上国の子どもたちがワクチン接種を受けられるようにと約 30 万個のペットボトルのキャップを集めました。また、伊勢湾台風被災と救援活動の写真展示や、防災コーナーを設けました。当日は好天に恵まれ、たくさんの方が参加してくださり、どこのお店も大盛況でした。地域の皆さん、保護者のみなさんのご協力とご理解ありがとうございました。

物品提供等ご協力者

浅井米穀店、昇花園、権安商店、喫茶モア、白水書店、Vドラック、鳥浩、玉屋、その他東海地区のキリスト教諸教会、諸団体、地域住民、役職員、利用者ご家族の皆様からたくさんの物品提供を頂きました。ありがとうございました。

※記載もれの場合ご容赦ください。

会計報告 バザー純益 715,599 円 (寄付 13,000 円)

純益は一部を赤十字・ユニセフに、そして社会館東館の改修費に充てさせて頂きます。

健康コーナー

むずむず脚症候群

脚の不快感が原因で起きる睡眠障害を“むずむず脚症候群”と呼んでいます。患者さんが訴える表現は単に“むずむず”に限りません。足がほてる・熱い・冷たい・だるい・痛い・かゆい・ちくちく・ひきつる・重い…など実に様々です。

200 ～ 500 万人の患者さんがいる、身近な病気です。

眠れない原因は脚ではなく脳にあった！

脳の神経細胞 (A11) はせき髄の過剰な興奮を抑えます。しかし、何らかの理由で A11 の働きが弱ってしまうと、普段何とも感じない刺激に対して、敏感になり“我慢しがたい不快感”となってしまうのです。また、夜になると A11 の働きに欠かせない血液中の鉄の量が少なくなるため、夜に症状が出やすいのです。

熟睡のための最新治療

- ・鉄補給 (ただし、肝臓の治療をしている方は必ず医師にご相談を！)
- ・ドーパミン作業薬の使用 (改善効果は 8 割といわれています。)
- ・就寝前のマッサージ、シャワーやお風呂、短時間の歩行
- ・夕方以降のカフェイン、アルコール、ニコチン摂取を避ける

以上は治療の代表例です。改善効果は個人によって異なります。神経内科や精神科など、睡眠医療に詳しい専門医の指導のもと、自分の症状に合った治療を選びましょう。



ご利用者さん、車の中で「私が若い時は、戦争があつて、とても大変だった。どうやったらおなかいっぱい食べられるか、そんなことを考えてばかりだったよ。今は、おいしいものがたくさんあって、白いお米が食べられて幸せだね。けど、あんなにおかしな世の中だ」と。あの頃

編集後記

お手軽
料理教室

おかずの一品に

野菜の
ゴママヨ和え

＊材 料＊

こんにゃく 1 枚
人参 中の半分
いんげん 1 袋
調味料
練りゴマ・マヨネーズ・
みりん・砂糖・醤油は適量

＊作 り 方＊

- ①材料を 5 センチほどの長さで、細く切り添える
- ②こんにゃくと人参をみりん・砂糖・醤油で甘辛く煮切る (いんげんは途中で入れる)
- ③同量の練りゴマとマヨネーズを合わせた中に②を和える

は、みんなが貧しく、苦しい時代。だからこそお互いに助け合ってきた、心豊かな時代でもある。現在、悲しい事件が後を絶たない。お腹だけでなく、心いっぱいになるつながりを、たくさんつくっていきなさい。と思う。(Y・I)